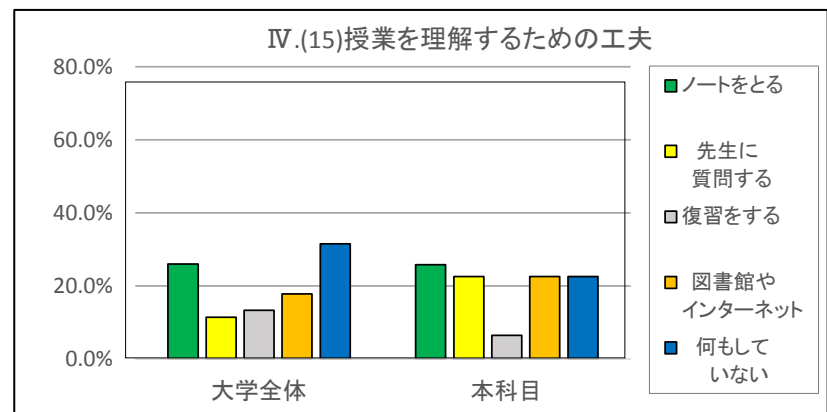


※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2、(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	25.8%	22.6%	6.5%	22.6%	22.6%



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	3.48	3.45
	I.(2)	3.65	3.56
	I.(3)	3.10	3.07
講義内容・方法	II.(4)	3.32	3.01
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.48	3.33
	II.(8)	3.52	3.42
	II.(9)	3.42	3.30
	II.(10)	3.58	3.23
	II.(11)	3.35	3.21
	II.(12)	3.61	3.48
	II.(13)	3.58	3.45
満足度	II.(14)	3.52	3.41

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 I.(1)~(3)	3.41	3.36
講義内容・方法 II.(4)~(13)	3.48	3.30
総合的満足度 III.(14)	3.52	3.41

授業年度	2017年度後期
時間割番号	21111
科目名	音楽科指導法
教員名	山本 美紀

#### ①授業計画の達成度について

模擬授業に必要な音楽的知識は、1年前期の「音楽の理解」でカバーしているものの、授業をやりながら思い出していく、ということから難易度が高いと感じられたと思います。模擬授業後の感想からは、授業を準備していく過程を通じて音楽の指導についての意識ができており、授業指導法の目的は達せられたと考えます。

#### ②授業の進め方について

模擬授業後の質疑応答・及び振り返りシートにあたる「大福帳」によって、授業中に疑問に思ったことや、クラス全体での共有するべき内容についての確認ができるようにしてきました。その分、模擬授業担当者の準備のレベルによって、授業内容の深さがかなり左右されることがあり、その点については、教員養成大学学生として、皆さん方とさらに内容を高めていくために工夫していきたいと思っています。

#### ③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

指導法についての授業は、将来に直結する部分が多く、授業態度も多くの人が前向きに取り組んでいたと思います。その一方で、授業を共に形成していく意識、また共に学んでいく意識など、さらなる学生側の「主体性」をどのように引き出すかを今後の課題としたいと思います。